



アタミロープウェイ内から撮影した、現在の熱海。「東洋のモナコ」と呼ばれる美しい街並みは変わらず



ムーンテラス。サンビーチとともに「恋人の聖地」に認定されている。テラス先端の噴水には、恋人たちが愛を誓うモニュメントがある

## 静岡 熱海市



別荘マンションを購入したという友人に誘われ、月曜の午前中、久しぶりに新幹線「こだま」に乗って、静岡県あたまの熱海に行きました。熱海で思い出すのは、20年ほど前、熱海のホテルでの親戚会。夕食の席で、浴衣姿で一人踊り出した叔父。腹を抱えて笑ったあの場面に象徴されるように、「中高年以上の人に、浴衣で夜の街に繰り出す、海辺の温泉街」というイメージで

# 「東洋のモナコ」健在 海沿いのしゃれた街並み

す。都会のサーファーである友人の別荘購入に、？（はてな）マークを頭に浮かべながらの旅立ちでした。

東京からわずか45分。熱海に降り立ち、駅前を歩いていくと、すぐに仲見世商店街にぶつかります。そこからは、以前には見られなかったしゃれたカフェや、イタリアン、フレンチの料理店が、古くからあるお土産屋さんや飲食店の間に散見します。そして、歩くこと15分。サンビーチ沿いにある友人のマンションに着き、周囲を見渡して驚きました。

サンサンと照りつける太陽に反射する、海沿いのホテルやマンションの、色とりどりの建物。海に向かってアーチが交差していくテラス。高級プライベートヨットが数多く係留されたマリナー。自分の知っている「熱海の海沿いの風景」ではあ

りませんでした。「オレは車で海行ってくるから、散歩でもしてきたら？」

部屋に入るとさっさとウエットスーツに着替えた友人と一緒に部屋を出て、海岸通りを歩いてみることに。立ち並ぶリゾートホテルや別荘マンションの1階には、カフェやショップが入っていて、老若男女、都会風のカップルが笑顔を交わしています。親水公園のムーンテラスにはカモメが集まり、テラスの果てにあるモニュメントの前では、若いカップルが楽しげに話しています。

「このビーチ、夜はライトアップされるんだって！ 今度は夜、来ようよ」

平日の昼間なのに、海岸通りはそれなりに人が歩いています。目立つのはカップルの姿。それを横目に、定番の「お宮の松」貫一お宮の像を見て、八幡山のアタミロープウェイに乗って熱海の浜を一望、2時間半の散歩を終えました。午後9時半。夕食の後に立ち寄ったスナックで、ママさんとともに「わか熱海観光大使」と化す友人。

「海岸沿いを歩けば、冬でも水着で遊べるスパ施設があるよ。山の方へ行けば、美術館も大きいのがあるし」

「車ですぐの湯河原吉浜の波はそこそこだけど、熱海には遊びもいろいろあるからね」

聞きながら、「今度は子供を連れて来よう

海岸沿いの風景から。新しく美しい建物の間に、廃虚

